

第3回耐震補強フォーラム実施計画書

日時 11月14日(月)13:00~17:00

会場 こうべまちづくり会館(650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2番14号)

主催

耐震補強フォーラム実行委員会

安全安心まちづくりワークショップ神戸実行委員会

後援(予定)

内閣府・総務省消防庁・国土交通省・兵庫県・神戸市

防災科学技術研究所・日本建築防災協会・土木学会・日本建築学会・地盤工学会

日本建築士会連合会・日本建築家協会・日本損害保険協会

NPO 法人都市災害に備える技術者の会・NPO 法人東京いのちのポータルサイト等

事務局 安全安心まちづくりワークショップ実行委員会事務局

事務局 NPO 法人地域交流センター 担当：津賀

東京都港区西新橋2-11-5、電話03-3580-8284

本フォーラムのコンセプト

第1回耐震補強フォーラムでは、耐震補強政策、工法、地盤、地域での独自の取り組み紹介より、耐震補強の重要性、課題が整理されました。

また、第2回耐震補強フォーラムは、11月まちづくりメッセ(於：ビックサイト)の会場にて、工務店、行政担当者を対象にした、具体的な耐震補強の推進方法を議論する機会となります。

これを受けて、第3回耐震補強フォーラムでは、阪神・淡路大震災の被災地である神戸を会場に、関西での取り組みを中心に、耐震補強を中心にした「災害に強いすまいづくり」の推進方策、具体的な政策を提言します。

第1回、第2回は関東で開催された「耐震補強フォーラム」ですが、神戸で開催することにより、全国的な広がりをもつ耐震補強推進活動をめざします。また、これまでのフォーラムから話題をさらに広げ、「災害に強いすまいづくり」という観点で、基調講演と多彩なパネルディスカッションを行います。

プログラムについて

(1) 基調講演 「(仮)災害に強いすまいづくりの推進」

小川富由氏(国土交通省住宅局建築指導課長)

住宅の耐震化の現状、耐震改修促進法改正等の国の方針、考え方を講演いただきます。
特に、国の基本的な考え方を受けて、地方自治体の創意工夫に期待していることを
力説していただき、後のパネルディスカッションにつなげます。

(13時10分~13時50分)

(2) パネルディスカッション 地域で進める災害に強いすまいづくり

【コーディネーター(案)】

鍵屋一氏(耐震補強フォーラム実行委員長)

【話題提供・パネラー】

自治体、NPO(専門家)、地域、学会、それぞれ地域の実情にあわせた現場からの取り組みを
紹介し、パネルディスカッションを行います。

兵庫県(兵庫県住宅再建共済制度)

平常時から資金を寄せ合うことにより、災害発生時に被害を受けた住宅の再建・補修
を支援する制度。全国に先駆けて9月に制度施行。

神戸市(新神戸市建築物安全安心実施計画)

建物の完了検査の受検の推進・違反建築の指導強化・建築ルールや適法手続きに関す
る市民啓発などを推進する計画の紹介

NPO法人都市災害に備える技術者の会

災害時の支援を効果的に推進するため、ネットワークづくり、専門的研修活動、物的
減災活動支援、市民啓発活動など実施

深江地区まちづくり協議会(住宅耐震化ワークショップ)

なかなか進まない住宅の耐震化を促すため、市と地域が一体となり、まちづくり活動
の中に耐震診断などを取り入れようと試みる(ワークショップ等の実施)

日本建築学会「木構造と木造文化の再構築」特別研究委員会

木構造に関する研究を見直し、木造及び木の文化を再生するとともに、木構造の教育
の在り方を再検討する研究者の集まり

宮城県河南町

自治会と地元工務店が中心になり、震度6の揺れにも耐えたお金もかからない地震対
策を瓦版にして広めている。

市川工業高校

地域の耐震診断を工業高校の実習として実施。地域まるごと耐震診断を行う計画もある。

(14時~15時30分)

(3) パネルディスカッション 災害に強いすまいづくりの新政策

【コーディネーター(案)】 現在調整中

【パネラー】

小川富由氏(国土交通省住宅局建築指導課長)

垂水英司氏(兵庫県建築士会 元神戸市住宅局長)

宮西悠司氏(まちづくりプランナー/耐震診断研究会)

鈴木祥之氏(京都大学防災研究所教授/都市空間安全制御分野)

松崎孝平氏(東京都建築士事務所協会足立支部)

パネルディスカッション1を受けて、これからの災害に強いすまいづくりの政策・制度について、議論する。(15時40分~17時)

(注)パネラーは現在調整中であり、若干の変更する可能性があります。